

# 江戸にふれる

食・芸・遊・粋・創

## 第六回 地唄舞と江戸料理で新春を迎える

新しい年をむかえ、街中が華やぐとき。江戸の中心『日本橋』で地唄舞と三味線の音を楽しみながら、江戸の料理に舌鼓をうつ。そんな粋な時間をおすごしになりませんか？



地唄舞とは

「地唄舞」は、座敷の狭い空間でお客様と対峙する舞踊で、関東で広まった言葉です。この舞踊は呼吸や腹からの動きが重要で、柔らかさと剛さ、凛とした心意気の特徴とします。江戸時代には庶民も楽しむための稽古所があり、芸事を磨く場でもありました。



地唄舞：花崎 杜季女  
(はなさき ときじよ)

三味線：菊央 雄司  
(きくおう ゆうじ)

古生田流箏曲や野川流三絃、上方系胡弓、平家琵琶の演奏家で、人間国宝から指導を受けました。地歌三味線の伝統を受け継ぎながら、現代邦楽や他のジャンルとも共演し、国内外で公演活動を行っています。また、テレビドラマにも三味線指導として参加しています。

地唄舞花崎流家元、一般社団法人地唄舞普及協会代表理事。国立劇場等での恒例リサイタルをはじめ、地唄舞普及を目的に、慶応大学学外授業「かど部屋案内人」、ジャズ、朗読とのコラボ等多ジャンルとの活動も広く行っています。文化庁、国際交流基金等の助成による海外公演多数。



### 奈美路や



### 企画にあたって

江戸の町は遊芸が盛んで、町のそこそこに稽古所がありました。若い娘たちは行儀見習いに芸を磨き、旦那衆も三味線や唄、舞踊を習いにお師匠さんの元に通うのが粋な道楽でした。地唄舞は、本来すり足で静かに舞う座敷舞です。限られた空間でこそ舞の所作の美が息づきます。地歌三味線の雄・菊央雄司さんと、江戸の凛とした芸風を確立された舞手・花崎杜季女さんをお迎えして、奈美路やを座敷にみたくて、江戸の地唄舞と江戸料理。その響き合う世界観をお楽しみいただきます。

◆料理監修 冬木れい

日時：1月20日 (土)

16:30 受付開始

17:00 開宴

三味線の音と地唄舞を鑑賞しながら、ゆったりと新春の宴をお楽しみください

19:30 お開き

会費：16,800円

会場：中央区日本橋1-4-1 COREDO 日本橋 4階

電話03-6262-6777

お申込み締め切り 1月15日 (月)

キャンセル料 3日前 30% 前日 50% 当日 100%

### お申込み・お問合せ



**PICO TOUR** 株式会社ピコ

電話：03-5411-7218

ファックス：03-5411-6781

メール：picoclub@picotour.co.jp

※お支払いは、当日会場にて承ります。

# 江戸料理 奈美路や

五街道の起点でもあり、江戸時代から続く日本の中心である日本橋。

古くは魚河岸が存在し、さまざまな食文化を生み出した日本の食の中心でもあります。古き良き伝統と新しさが交わるこの地から、心をこめた江戸料理を通して江戸文化を発信していきます。

## おとなの寺子屋 今後の開催予定につきまして

開催日程	イベント名	講師名	ご料金
2023年11月11日 (土)	三味線の会	山本ゆきの氏	14,000円
2024年1月20日 (土)	地唄舞の会	花崎杜季女氏	16,800円
2024年2月10日 (土)	和菓子作りの会	伊藤 郁氏	未定

三味線の会



地唄舞の会



和菓子の会



江戸時代に上流階級から庶民まで幅広く愛された三味線。今回は2棹の三味線でお届けします。どうぞ、手拍子、掛け声を交えながら粋で楽しい一夜をお過ごしください。

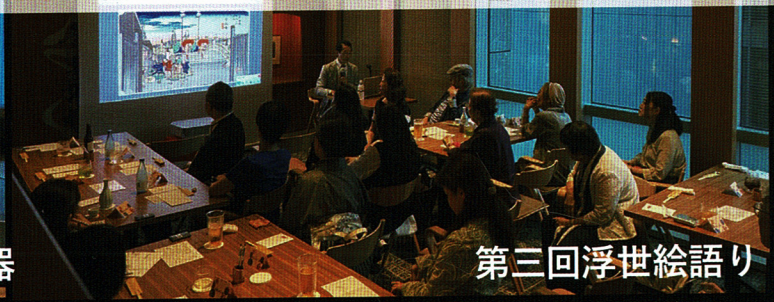
地唄舞は座敷の狭い空間でお客様と対峙する舞踊です。江戸時代には庶民も楽しむ為の稽古場がありました。

老舗和菓子店の元職人による練り切り和菓子作りのワークショップ。季節に合った繊細な和菓子と江戸料理をお楽しみください。

## 過去のイベントの様子



第二回江戸を彩った器



第三回浮世絵語り

江戸料理 奈美路や

〒103-0027

東京都中央区日本橋1-4-1

COREDO日本橋4階

お申込み・お問い合わせ

担当古武（フルタケ）

TEL：03-6262-6777

Mail：[namijiya@edowonderland.com](mailto:namijiya@edowonderland.com)



※写真は全てイメージです